

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立磐田北高等学校

目次

1	事務事業に関すること	
	事務事業の概要（出先）	1
	事業の根拠法令調	22
2	職員に関すること	
	職員調	23
	職員の年齢調	26
	健康管理	27
3	予算の総括に関すること	
	歳入予算執行状況調	28
	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	30
	現金出納調	31
	預金調	33
	郵券等受払調	34
	歳入歳出外現金調	35
	歳出予算執行状況調	37
	委託料等歳出予算執行状況節別集計表（前年度等）	43
	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	44
4	補助金等に関すること	
	委託料に関する調	45
	負担金支出調	48
5	工事に関すること	
	建築工事調	50
	繰越工事調	52
6	財産に関すること	
	公有財産調	54
	借地借家等調	56
	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	57
	行政財産貸付・使用許可調	58
	備品・図書調	59
	主要備品調	65

事務事業の概要

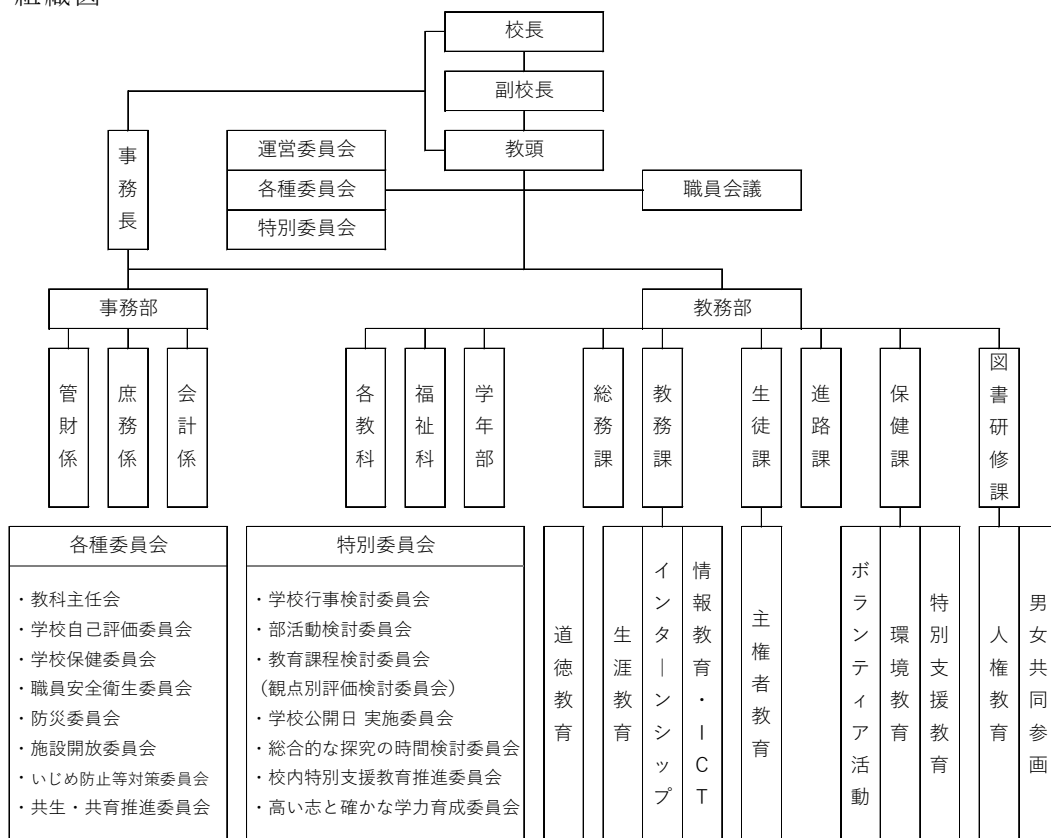
1 概況

(1) 学校の沿革

明治	42. 3. 8	静岡県磐田郡立実践高等女学校として設立認可
	42. 4. 14	磐田郡見付町北井上に開校
	44. 5. 17	静岡県磐田郡立高等女学校と改称
大正	8. 9. 10	静岡県磐田高等女学校と改称
	11. 4. 1	静岡県立に移管され静岡県立見付高等女学校と改称
昭和	14. 11. 30	現在地に移転、校舎落成
	18. 12. 8	静岡県立見付高等女学校学生寮「貞静寮」(見付町北井上)内に 保育寮認可
	20. 3. 31	戦時空襲激化のため保育寮一時閉鎖(1年間)
	21. 4. 10	保育寮を静岡県立見付高等女学校附設保育所と改称
	22. 7. 15	保育所を現在地に移転(弓道場を改造)
	23. 4. 1	学制改革により新制高等学校として発足(普通科6学級)、静 岡県立磐田第二高等学校、保育所を静岡県立磐田第二高等学 校附設保育所と改称
	24. 4. 1	静岡県立磐田実業高等学校と統合し、静岡県立磐田北高等学 校と改称、商業科を中泉教場として旧磐田実業高等学校に、 家庭科を見付教場として旧磐田第二高等学校に設置、保育所 を静岡県立磐田北高等学校附設保育所と改称し保育室を増築
	25. 6. 28	保育所をみどり保育園と名称変更
	27. 4. 1	商業科が静岡県立磐田商業高等学校として分離独立 みどり保育園が静岡県に移管され、静岡県立磐田北高等学校 附設保育園と改称
	28. 4. 1	保育園が幼稚園として認可され、静岡県立磐田北高等学校附 設幼稚園と改称
	38. 4. 1	保育科設置(普通科6学級、保育科1学級)
	39. 10. 1	体育館新築
	43. 3. 25	幼稚園舎新築
	47. 3. 25	第1棟校舎新築
	49. 4. 1	衛生看護科設置(普通科6学級、保育科1学級、衛生看護科1 学級)
	49. 4. 30	第2棟校舎新築
	49. 10. 31	第3棟(衛生看護科棟)校舎新築
	54. 4. 13	プール新築
	58. 9. 30	第1棟校舎耐震補強工事竣工
	61. 3. 15	小体育館新築

	62. 4. 1	普通科 1 学級増(普通科 7 学級、保育科 1 学級、衛生看護科 1 学級)
平成	6. 4. 1	保育科募集停止、普通科 1 学級増(普通科 8 学級、衛生看護科 1 学級)
	9. 4. 1	幼稚園募集停止
	10. 3. 31	幼稚園閉園
	11. 4. 1	普通科 1 学年より男女共学
	14. 4. 1	衛生看護科募集停止、普通科 1 学級減、福祉科設置(普通科 7 学級、福祉科 1 学級)
	16. 3. 31	衛生看護科閉科
	16. 4. 1	普通科 1 学級減(普通科 6 学級、福祉科 1 学級)
	18. 5. 30	学習館(さみどり会館)新築
	19. 11. 30	第 2 棟校舎耐震補強工事竣工
	20. 1. 31	大体育館耐震補強工事竣工
	22. 3. 2	渡り廊下耐震補強・部室新改築工事竣工
	22. 4. 1	敷地内に静岡県立袋井特別支援学校磐田見付分校開校
	23. 4. 1	普通科 1 学級減(普通科 5 学級、福祉科 1 学級)
	26. 4. 1	普通科 1 学級増(普通科 6 学級、福祉科 1 学級)
令和	3. 4. 1	普通科 1 学級減(普通科 5 学級、福祉科 1 学級)
	6. 4. 1	普通科 1 学級減(普通科 4 学級、福祉科 1 学級)

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) スクール・ミッション

校訓「優しく 逞しく 誠実に」のもと、多様な生き方や価値観を認め、人との関わり大切さを体験から学ぶ教育を通して、自他の人間性と人格を尊重できる人権意識を高め、個人として自立することができる生徒を育成する。また、進学から就職まで生徒の多様な進路希望や一人ひとりの適性に応じた学びを実現し、心身ともに健康なたくましさ未来を切り拓き、社会の変化に対応できる資質・能力及び実践力をもつ生徒を育成する。

(2) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者を思いやり、協働しながら自己の能力を発揮し、地域社会に貢献する力 ・課題解決に向け、粘り強く取り組み、未来を切り拓いていく力 ・自分の可能性と真摯に向き合い、チャレンジしようとする力 	<p>～本校ではこのような学びを行います～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四年制大学進学をはじめとし、就職も含めた多様な進路に対応した学び ・ICTを活用した個別最適かつ協働的な学習 ・自己有用感・自己肯定感を得られる講演や体験活動 ・3カ年を貫く「総合的な探究の時間」の充実と「福祉マインド」の醸成 	<p>～本校ではこのような生徒を求めています～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と関わり、共に思いやる心を持つ生徒 ・自ら学び、自己の目標に向かって努力することができる生徒 ・地域や世の中に目を向け、課題を見つけ、解決・貢献しようとする意欲のある生徒 ・「明るいあいさつ、元気な返事、いつでも笑顔」

(3) 目標具現化の柱

- ア 生徒一人ひとりが自らの資質・能力を高め、将来において社会的に自己実現が出来るようになるための自己管理能力を育成する。
- イ 高い志を実現するために、学習や体験的な活動に積極的に向かう主体性を育む。
- ウ 個としての自分を大切にし、他者との関わりの中で自己有用感を育み、集団の一員として責任のある行動をとる社会性・人間性を育む。
- エ 学校・家庭・地域と連携した教育活動を行い、保護者・地域に信頼される学校づくりを推進する。
- オ 教職員が心身ともに健康で、縦横の連携・協働を図り、心理的安定性のある職場づくりを推進する。
- カ 体験活動や講演・講話を通して「福祉マインド」を醸成するとともに、特に福祉科においては医療分野等との連携ができる高度な知識・技能の習得を通して、共生社会の創造と地域福祉に貢献する人材を育成する。
- キ 生徒が自主的に行動できる環境を作り、自ら学び自ら行動できる人材を育成する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 前年度の取組目標への評価及び成果と課題

評価A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:あまり達成できなかった

D:ほとんど目標を達成することができなかった。

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	生活習慣の確立	・場に応じた服装や態度ができる。(90%)	「挨拶がしっかりとできている。」94.7% 「場に応じた服装や態度がしっかりとできている。」 97.4%	A	挨拶、服装は概ね良好な状況である。一層、質の高い振る舞い、また自律的なものになるよう、意識を高めさせたい。
		・スマホを適切に使用している。(60%)	「スマホを適切に使用している」 89.6%	A	本校独自の「適切さ」のオリジナル尺度（R5に作成）を用いて、生徒が自分の「適切さ」を測定した。成果目標自体が低いという反省を持つ必要性を感じるとともに、ひとたび「不適切さ」が問題になった時のダメージの大きさを、繰り返し伝える指導を継続する。
	学習習慣の確立	・計画的に学習に取り組んでいる。(80%)	「自分で必要と判断した学習を中心に家庭学習を行っている。」 67.0% 「自分の学習について振り返りをして計画的に学習に取り組んでいる。」 49.1%	C	昨年度から数値は微増微減。(R5は各66.3、50.2)。学習習慣が確立していない生徒が多い。定期テスト前の学習時間調査を、全校体制で行ったが、成果には繋がらず。学習時間の可視化に加え、別の手立てを講じる必要性を痛感した。
	生徒の学力にあった指導方法の検討	・授業がわかる。(80%)	「学校は、授業を大切にするとともに、わかりやすい授業を行おうと努めている。」 78.3% 「学校は、基礎・基本に力を入れ、確かな学	B	R4に数値が下降して危機感を持った項目であったが、昨年度の数値上昇に続いて回復傾向が続いた。生徒からの授業改善への期待に一定程度応えることができた。ただ依然として課題は残る。データ

			力と教養力の育成に努めている。」 85.7%		(定期テスト、外部模試)、ICT、教育動画等を一層活用し、適切な教授を研究しなければならない。その上で、主体的な学び、観点別評価に繋がる授業設計も構築することが課題である。
イ	魅力的な授業の実施	・学校の授業に主体的に取り組んでいる。(80%)	「あなたは、学校の授業に自ら進んで(主体的に)取り組んでいる。」85.7%	A	令和5年度に目標値に回復。今年度は微増した。課題は、主体性をどう定義付け、どう育てるかの研究継続である。例えば「どうであると」生徒が(主体的)といえるのか、という教師側の具体的評価尺度などは、まだまだ定まっていないように思われる。
		・自ら計画して校外学習に参加した。(100%)	「あなたは、授業以外で自らの視野を広げる活動を行った。」 58.9% 「学校は、探究活動や読書週間、各種講演などを通して、生徒の視野を広げる助けをしている。」 85.8%	B	コロナ禍後に学校が提供する各種の啓発的経験は充実しており、生徒も評価している。一方で、生徒が自らの視野を広げる活動をしている、という認識を持っていない(全員が夏休みにオープンキャンパス等に行くなどしているにも関わらず)。「視野を広げる活動」を、自ら求めて行うよう、どう導くかが今後の課題である。
	・生徒が企画した図書館だよりの発行(毎月1回)	毎月1回の発行ができた。	A	HPにも載せている。発行が遅れる月もあった。図書委員が積極的に動くことができるように支援することが課題である。	
	一人ひとりの視野を広げる活動の推進	・朝活で積極的に読書した。(80%)	「朝活の時間に積極的に読書ができましたか。」86% 内訳は「そう思う53%」「どちらかと言えばそ	A	「積極的」の定義は生徒それぞれだろうが、感覚的に生徒がこのように認知していることは、好意的に捉えてよいと考える。また、朝の読書が

			う思う33%」。		「読書の機会作り」になっていると考えている生徒も多いので（79%）、朝の読書は継続指導したい。課題は、だからと言って読書習慣の形成には、まだまだ至っていないことである（読書習慣が「ある」との肯定的回答42%）。今後の指導に工夫が必要である。
ウ	生徒主体の学校行事・部活動及びボランティア活動の推進	・部活動単位でのボランティア活動の完全実施	全26部活動中、10部活動が実施。関連競技の大会運営補助、地元のジュビロマラソン補助員、慰問/交流活動などに取り組んだ。	C	一般社会の大人との関わりから得るものは大きく、コミュニケーション力が問われ、また（校内とは違った）責任感を求められ、自己有用感も高まる貴重な経験であるという感想が寄せられた。一方で、部活動入部の在り方の変化等もあり、成果目標の立て替えも必要だと思われた。
		・学校行事を生徒が主体的にかかわれるよう企画(80%)	「学校は、生徒が自主的に部活動にかかわることができるよう指導している」 (R5は79.5% → R6は84.1%) 「学校は、文化祭や体育大会などの行事を、生徒が主体的にかかわれるように企画している。」 84.5%	A	生徒は、「部活動に自主的に関わるよう指導を受けている」、と認識している程度が高い。人間形成の場としての部活動で得た自主性を、生活全般で生かしていくのが課題である。生徒による学校行事への評価は、数値が昨年度V字回復した。その背景を、教員が生徒の行事の計画や運営を支援しつつ、生徒が楽しみながら自己有用感を高められるよう積極的に手立てを講じた成果だと分析していた。その指導が継続し、今年も成果を上げていると考える。もちろん、コロナ禍明けで伸び伸びやれるようになった、という要素もあると推測もある。今後も生徒の主体性を支援することが課題である。
	多様な他者との共生の推進	・見付分校との交流の場の促進	文化祭、体育大会の行事や、クラス単位や部活動単位で交流した。 R3度設置の本校内の	A	学校行事等の定例の交流機会に加え、部活動や学年/クラス等での交流もコロナ以前に回復しつつある。継続的に交

		分校掲示板が活用されている。		流を続けていきたい。
	・ SNSに関連した啓発活動を学期に2回行う。	SNSに関連した啓発活動は2回実施。本校独自の「スマホの適切な使用の尺度」を活用している。	A	SNSに関連しての大きなトラブルはなかったことは成果か。便利さとリスクが同居するツールの活用法を生徒自身が考える指導が課題だ。
学校の一員としての施設の使用	・ 学校が整理整頓されて清潔に保たれている。	共有の場の整理整頓はできている。	A	共有の場の使い方について、引き続き維持していく。
	・ 部室や教室における盗難の件数ゼロ	ロッカーから教科書等が紛失した事案が1件あった。	B	本校の生徒ロッカーは、鍵をつける指導をしていないが、場合によっては必要かもしれないと、考えさせられた。
	・ 落とし物の持ち主が申し出る割合を増やす。	落とし主からの申し出はあった(数名)。しかし、持ち主に帰らない落とし物が多い。申し出の割合は未計測である。	B	「落とし物ボックス」内の写真を撮り、生徒への連絡ツールで公開するなどして気づいた件もあった。日頃よりの記名の習慣形成と、物を大切にすることを育てる必要がある。
心身ともに健康で安心・安全な学校生活を送る	・ 学校には自分の居場所がある。(95%)	「学校に自分の居場所があると感じている。」93.1% こころの健康調査(年2回実施) スクールカウンセラーとの連携	B	「居場所がある」と感じる生徒の数値が回復傾向が続く。(R3は90.2、R4は85.9、R5は89.2)。ただ、「居場所がある」とは思えない生徒は存在する。学校への所属感、学校での自己有用感を感じる経験を得させたい。 また、心身の安全への現在の支援体制を維持していく。 スクールカウンセラーとの連携は良好だが、時間的にも予算的にも目一杯の状況である。

エ	地域へ 情報の 発信の 充実	・ ホームペー ジ年150回以 上の更新	ホームページの年150回 以上の新着記事の更新 を達成した。 「学校は、学校行事や コンテスト、部活動の 成績などの情報をPRし ている」74.1% 「学校ホームページ を、1週間に1回程度 は閲覧している。（保 護者）」18.8%	A	ホームページの更新を繰り返 し、学校の様子を発信できて いることは、保護者にも一定 程度認識されていることがわ かる。また、新ホームページ への移行も滞りなく達成し た。デザインも一新して新鮮 である。 一方で、閲覧頻度は低下低迷 しており（R4は18.9、R5は 15.3）、懸案のプッシュ型の 情報発信（公式Instagram） を12月末に開設した。 Instagramからホームページ への誘導効果など、今後の変 化を見守りたい。
	防 災 体 制 の 整 備	・ 生徒の帰宅 方法の具体 化	「防災確認シート」に より生徒の帰宅方法の 確認と地区毎の集合訓 練を行っている。 「学校は、地域と連携 した防災体制の整備に 努めている。（保護 者）」 64.4%	B	「防災確認シート」活用の課 題として、入学後の住所変更 等への随時対応が不十分であ ることが挙げられる。 「地域防災の日」（12月第1 日曜日）に実施される訓練に 市町と協力して生徒、職員の 参加を促した。また、参加で きなかった生徒への事後指導 を行い、防災意識を啓発し た。コロナ禍後の地域防災の あり方の変化の把握が必要で あると感じた。
	P T A 活 動 の 整 理 及 び 推 進	・ 改善策を次 年度の総会 で提案す る。	P T A 専 門 委 員 長 の 選 出 方 法 等 の 改 訂 が 前 年 度 まで に 進 み、 新 規 な 改 善 策 を 次 年 度 総 会 で 提 案 す る の 必 要 が な け な け ぬ 事 だ と 考 へ ら れ た。 「P T A 活 動 は、 活 動 に つ い て 理 解 が 深 ま る よ う な 情 報 発 信 や 運 営	B	P T A 専 門 委 員 長 の 選 出 方 法 を 改 定 し て 2 年 目 と な り、 事 業 の 引 継 ぎ と 運 営 の 円 滑 化 を 図 る こ と が で き た。 高 P 連 研 修 会 等 へ の 参 加 は、 P T A 会 長 の 負 担 軽 減 の た め、 副 会 長 と 役 割 分 担 を 適 切 に 行 う こ と が でき た。 P T A 活 動 の 情 報 発 信 の 数 値

			がなされている。（保護者）」 62.8%		は上昇傾向である（R3は40.2、R4は56.0、R5は56.7）。P T A通信「北高通信」のデジタル配信化等の効果も考えられる。
	信頼ある窓口	・窓口業務関係の苦情ゼロ	苦情なし。	A	引き続き丁寧で、正確な対応に努める。
オ	多忙化解消のための業務の改善	・業務の精選・改善・効率化を提案又は実践する。（職員の80%）	業務の精選・改善・効率化を提案又は実践した職員は71.1%（27人/38回答中）だった。	B	個々の職員は業務改善へ意識が高めである。今後の課題は、組織の取組にどうつなげるかである。たとえば、省力化、削減/廃止はもちろんのこと、分担が鍵である。出張、起案等の業務フローの改善（簡略化、一元化、見える化）等が定着し、また県全体の取組である文書收受のペーパーレス化については、本校の仕組みを構築することができた。
		・ICT活用が「できる」「ややできる」（職員の80%）	「できる」「どちらかといえばできる」職員の合計が68.4%（26人/38回答中）。	B	G I G Aスクール構想とコロナ禍で急進した教育のICT化で、授業を含めた校務の手法に変化がある。C-learning（令和4年度途中導入）の運用は継続し、年度途中には県下一斉の「百問繚乱」（採点支援ソフト）の導入があった。業務改善の可能性がある一方、新たなスキル獲得への大きな個人差（デジタル・デバインド等）、内在するデメリット等への懸念（デジタル採点のし易さに寄せた作問傾向の変化や、返却時の個人情報漏洩等）、などがある。
		・夏季休暇の完全取得	完全取得者割合91.7%	B	業務が立て込んでしまい、完全取得できなかった例があっ

					た。業務改善と合わせて、学校全体の課題としたい。
適切な業務の遂行	・ 監査等での指導・指摘事項ゼロ	指摘事項あり。	B	指摘に対しては速やかに対応した。今後も適正な執行に努める。	
	・ 勤務時間管理システムを活用し、自らの働き方を把握する。（職員の100%）	全職員が勤務管理システムを活用した。なお、行政職は、別の仕組みで把握している。	A	「勤務時間管理システム」の入力を確かなものとするため、アナログ的ではあるが、月ごとに入力結果を各職員が印刷して提出することで、全体としては入力状況が向上している。ただ、勤務日毎の随時入力は必ずしも達成できていない。 長時間労働について改善を図る必要がある。定時退勤日（月曜日）、最終退勤時間（20時）等が達成できるよう、業務改善を継続する。	
ミドルリーダーの育成	・ 年次研修対象者とチーム研修対象者が、自らの成長を実感する。（100%）	肯定的評価（「成長を実感した」「どちらかと言えば実感した」）が、87.5%（7人/8人中）。	B	校外での研修機会で学んだことを実践して効果を実感したり、中堅研修対象者を中心にした校内でのチーム研修では活発な意見交換をしたりできた。自らの成長と、俯瞰的に学校経営を見た上での実践継続が課題である。	
地域福祉に貢献できる人材の育成	・ 各種大会で、授業や実習など日頃の学びの成果が現れる結果を目指す。	介護技術コンテストでは、県大会で優良賞（東海大会出場には繋がらず）。夏休みや放課後等を使って練習に励んだ。大会運営スタッフとして大会運営に主体的に取り組めた。	A	大会が本校開催であり、大会運営を通して、主体性を育むことができた。今後も「生活支援技術」や「こころとからだのしくみ」の授業を通して、介護技術の基礎・基本を習得できるように努める。	
	・ 介護福祉士国家試験全員合格（100%）	介護福祉士国家試験全員合格に向けて、生徒と職員が一丸となって取り組んだ。	A	令和7年1月26日（日）に全員受験し、3月の結果発表にて、全員合格を果たした。	
カ	関連分野の資格取得を目指す				

(2) 本年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自らによる服装の点検や積極的なあいさつ運動 スマホの適切な使用（マナー、使用時間等）について、保護者と連携して指導し、自己管理を徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 場に応じた服装や態度ができる。(90%) スマホを適切に使用している (60%) 	生徒課
	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 学習時間調査、学習計画の実施と活用 メタ認知能力の育成を意識した「振り返り活動」の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に学習に取り組んでいる(80%) 	教務課 各教科
	生徒の学力にあった指導方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> 各種のテスト（含「スタディサポート」＝「高校生のための学びの基礎診断」測定ツール）の結果から生徒の基礎学力を分析し、授業方法、教材、課題（平常の宿題、週末課題、長期休業中の課題）の随時見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 授業がわかる。(80%) 	各教科
イ	魅力的な授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な ICT 機器の活用についての研究 授業公開週間を活用し、互いに授業を参観する雰囲気醸成 観点別評価についての研究の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業に主体的に取り組んでいる。(80%) 	図書研修課 教務課 全職員
	一人ひとりの視野を広げる活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間の検討と実施 校外学習や高大連携、卒業生、外部人材を活用したキャリア教育の推進 図書委員会の活性化と読書習慣の形成 「北っ子ルーム」による学びの場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら計画して校外学習に参加した。(100%) 生徒が企画した図書館だよりの発刊。(毎月1回) 朝活で積極的に読書した。(80%) 新聞や書籍等、紙媒体の文化的資料を図書館・進路資料室等と協同して適宜提供する。 	進路課 図書研修課
ウ	生徒主体の活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の企画・実施を生徒主体に行うために、LHR 等においてリーダーの育成を意識した活動の実施 部活動及び自己向上活動への自主的活動参加とボランティア活動への参加を推進及び充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事を生徒が主体的にかかわれるよう企画。(80%) 	生徒課 保健課 福祉科

		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後を利用した校内での自己向上活動・探究的活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部、文化部に加入している生徒が自主的に行動できる。 ・部活動未加入の生徒が放課後、自己向上・探究的活動を行う。 	全職員
	多様な他者との共生の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・共生共育の視点を取り入れた行事、活動の充実 ・SNS の活用について、常に他者の人権を意識した情報発信となるような啓発活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・見付分校との交流の場の促進 ・SNS に関連した啓発活動を学期に2回は行う。 	
	学校の一員としての施設の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・教室や部室の整理整頓 ・清掃、ごみ捨ての徹底 ・共有の場所の使用方法理解 ・私物管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が整理整頓されて清潔に保たれている。 ・部室や教室における盗難の件数ゼロ ・落とし物の持ち主が申し出る割合を増やす。 	生徒課 保健課
	心身ともに健康で安心・安全な学校生活を送る	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係エクササイズの実施 ・健康観察と教育相談の充実 ・安全点検の定期的実施と迅速な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校には自分の居場所がある。(95%) 	
エ	地域への情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを用いた積極的かつ目的をもった情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ年150回以上の更新 	総務課
	防災体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した防災体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の帰宅方法の具体化。 	
	P T A 活動等の整理及び推進	<ul style="list-style-type: none"> ・役員選出方法の変更に伴う課題を整理 ・教育振興会の在り方についての検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善策を次年度の総会で提案する。 	
	信頼ある窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の窓口として常に丁寧な対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務関係の苦情ゼロ。 	事務室
オ	多忙化解消のための業務の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の目的の明確化 ・業務の見直し（工夫、代替、分担、削減） ・生徒端末導入やアプリの導入及び効果的な活用と実践 ・部活動ガイドラインの理解と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の精選・改善・効率化を提案又は実践する。（職員の80%） ・ICT活用が「できる」「ややできる」（職員の80%） ・夏季休暇の完全取得 	全職員

	適切な業務の遂行	<ul style="list-style-type: none"> 各所で、チームや個人が、ルールを十分に理解し、それに則って業務を遂行 	<ul style="list-style-type: none"> 監査等での指導・指摘事項ゼロ 勤務時間管理システムを活用し、自らの働き方を把握する（職員の100%） 	全職員
	ミドルリーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> 年次研修への積極的な取組 チーム研修での活発な意見交換（2回以上/年） 学校運営に関する具体的な提案 	<ul style="list-style-type: none"> 年次研修対象者とチーム研修対象者が、自らの成長を実感する。（100%） 	図書研修課
カ	地域福祉に貢献できる人材の育成 関連分野の資格取得を目指す	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力及び基礎的な介護技術の習熟の徹底と福祉マインドの高揚のためにICTを活用した効果的で主体的な学習の研究 自分自身の心身の健康管理 外部との連携を密に行った、介護職としての深い学び 介護技術コンテストの上位入賞 	<ul style="list-style-type: none"> 各種大会で、授業や実習など日頃の学びの成果が現れる結果を目指す。 介護福祉士国家試験全員合格（100%）。 	福祉科

4 監査対象期間における特色ある取組

令和6年度	ア 生活5目標（挨拶、言葉使い、規則、けじめ、気配り）の指導の徹底を図り、基本的な生活習慣を確立させるとともに、磐田北高の生徒としての自覚と誇りを持たせる。	ア 生徒課が中心となり全教職員の輪番制で朝の校門指導等を行い、生徒に声掛けを行なうなかで、挨拶を始めとした5目標の浸透を図った。全校集会を開くことが可能となったからは、校歌を歌うなど集団への帰属意識の涵養に努めた。
	イ 生徒が自律的に学習に取り組む態度を育成するために、ICT機器等を活用した授業改善を図る。	イ 教務課の情報担当が機器の管理を行っている。活用方法については、各教科のICT教育担当を中心にしてそれぞれ実践に努めている。一人一授業公開では、管理職による授業観察に併せ、職員が公開授業を行う。
	ウ 心身ともに健康で、様々な活動に主体的に取り組む態度を育成するために、諸活動への自主的参加を促す。	ウ コロナ禍後の文化祭では、生徒会が一層主体となる実施方法に努めた。 部活動においては、陸上競技部が全国大会出場した。またアーチェリー部、ギター部も上位大会に参加した。
	エ 社会で活躍できる人を育てるため、キャリア教育の理念に基づいた教育課程、高大連携、卒業生、外部人材を活用した進路指導を推進する。	エ 職業理解のための各学年の独自の企画を実践している。 3年生のゼミ活動においては、医療や保育等の進路希望の分野について、現場の見学をしながらの専門家から話を聴いて理解を深め

令和6年度	<p>オ 「総合的な探究の時間」を軸に、地域・関係機関との連携を強化するとともに、地域の諸活動への参加を促し、体験を通して達成感や充実感を味わえる機会を増やしている。</p> <p>カ 学校公開やホームページによる広報活動をより一層充実させ、本校の教育活動について中学校や地域へ積極的に情報を発信する。</p> <p>キ 袋井特別支援学校見付分校との共生教育を充実する。</p> <p>ク 福祉専門職としての使命感、倫理観育成するために、地域の福祉施設や福祉人材と連携した教育活動を充実させる。</p>	<p>る活動を企画している。</p> <p>オ 地域（市役所等）や関係機関（大学等）と連携した事業を計画した。1年生の「総合的な探究の時間」では、市役所主催の磐田高校生まちづくり研究所」に参加している。</p> <p>カ 校内の活動や、部活動の様子などの日々の学校生活をホームページで発信するなど、広報活動を充実させている。公式インスタグラムも開始した。</p> <p>キ 袋井特別支援学校見付分校との交流を実施している。校舎施設の共有や活動場所の提供や相互の施設見学、教育活動の内容理解のための研修、文化祭の共催、体育大会の共催などを継続し、交流を保っている。</p> <p>ク 次のように校外実習を計画した。1年生は6日間のデイサービス実習（7月）と1泊2日の障害者施設での実習（10月）。2年生は年間24回の校外実習（5月～2月）。3年生は20日間の集中実習（6月～7月）。</p>
令和7年度	<p>ア 生活5目標（挨拶、言葉使い、規則、けじめ、気配り）の指導の徹底を図り、基本的な生活習慣を確立させるとともに、磐田北高の生徒としての自覚と誇りを持たせる。</p> <p>イ 生徒が自律的に学習に取り組む態度を育成するために、ICT機器等を活用した授業改善を図る。</p> <p>ウ 心身ともに健康で、様々な活動に主体的に取り組む態度を育成するために、諸活動への自主的参加を促す。</p>	<p>ア 全教職員の輪番制で朝の校門指導等を行い、生徒に声掛けを行なうことを始めとして、挨拶を始めとした生活5目標の浸透を図る。全校集会で校歌を全校で歌う機会を作り、集団への帰属意識の涵養機会を活用する。</p> <p>イ 情報管理課と教務課と統合した教務情報課を、教務課に戻した。教務課内の担当者が機器の管理、活用方法の研究を行う。また、各教科のICT教育担当を中心に、公開授業の機会も活用しながら、一人一人の授業改善に繋げる。</p> <p>ウ 文化祭は、生徒会主体の実施を目指した。</p>

令和7年度	<p>エ 社会で活躍できる人を育てるため、キャリア教育の理念に基づいた教育課程、高大連携、卒業生、外部人材を活用した進路指導を推進する。</p>	<p>エ 職業理解のための各学年の独自の企画を実践している。</p> <p>3年生のゼミ活動では、医療、保育、ビジネス等の進路希望の分野について、教室に講師を招いたり、現場の見学をしたりする計画をしている。</p>
	<p>オ 地域・関係機関との連携を強化するとともに、地域の諸活動への参加を促し、体験を通して達成感や充実感を味わえる機会を増やす。</p>	<p>オ 地域（市役所等）や関係機関（大学等）と連携した事業を計画している。また、令和5年度より1年生普通科全員で開始した、「総合的な探究の時間」と市役所主催の「磐田高校生まちづくり研究所」のタイアップを、継続している。</p>
	<p>カ 学校公開やホームページによる広報活動をより一層充実させ、本校の教育活動について中学校や地域へ積極的に情報を発信する。</p>	<p>カ 校内の活動や、部活動の様子などの日々の学校生活をホームページで発信するなど、広報活動を充実させる。公式Instagramでの情報発信も継続している。</p>
	<p>キ 袋井特別支援学校見付分校との共生教育を充実する。</p>	<p>キ 袋井特別支援学校見付分校との交流を実施する。校舎施設の共有や活動場所の提供や相互の施設見学、教育活動の内容理解のための研修、文化祭の共催、体育大会の共催などを継続し、交流を図る。</p> <p>また、特別支援学校のセンター的機能を生かし、かつ職員の多様な生徒への対応力の向上のために、見付分校との研修を定例化する。</p>
	<p>ク 福祉専門職としての使命感、倫理観育成するために、地域の福祉施設や福祉人材と連携した教育活動を充実させる。</p>	<p>ク 福祉施設においては感染対策が他より高いレベルで維持されるなか、各学年とも校外実習を計画している。（1年生は8日間のデイサービス実習、2年生は24日間、3年生は20日間）。</p>

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

区分	本務職員												臨時的任用職員								学校医等	合計				
	教育職員							行政職員					小計	会計年度任用職員												
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	計	事務長	主査	主任	主任技能員		計	小計	教諭(臨)	実習助手(臨)	外国語指導講師	非常勤講師	スクールカウンセラー			非常勤労務職員	非常勤嘱託員	部活動指導員	小計
転出		1		4		1		6	1				1	7	1									1		8
退職				2				2					0	2	1			5						6		8
転入		1		7			1	9	1				1	10									0		10	
新任				1			1	2					0	2				1					1		3	
役職定年								0					0	0									0		0	
差引増減	0	0	0	2	0	▲1	2	3	0	0	0	0	0	3	▲2		0	▲4	0	0	0	0	▲6	0	▲3	

(2) 現員数 (令和7年6月30日現在)

区分	本務職員												臨時的任用職員								学校医等	合計			
	教育職員							行政職員					小計	会計年度任用職員											
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	計	事務長	主査	主任	主任技能員		計	小計	教諭(臨)	実習助手(臨)	外国語指導講師	非常勤講師	スクールカウンセラー			非常勤労務職員	非常勤嘱託員	部活動指導員
男	1	1		22				24	1	1	1		3	27				6		2		3	11	5	43
女			1	18	1		3	23		1		1	2	25	2		1	4	1	0	1		9	1	35
計	1	1	1	40	1	0	3	47	1	2	1	1	5	52	2		1	10	1	2	1	3	20	6	78

(3) 健康管理について

(ア) 健康診断の状況（令和6年度）

区分	対象者	対象者数	受診者数	摘要
結核検診	指定年齢健診及び人間ドック受診希望者以外の全職員	14人	11人	個人受診2人 産育休 1人
生活習慣病検診				
指定年齢健診	40・45・50・55・59歳	12人	12人	
人間ドック	35・38・41・42・43・44・46・47・48・49・51・52・53・54・56・57・58及び60歳以上の共済組合の組合員で受診希望者	23人	23人	
婦人科健診	子宮頸がん検診（20歳以上の偶数年齢女性全員）	13人	12人	産育休 1人
	乳がん検診（40歳以上の偶数年齢女性全員）	8人	8人	

イ 健康管理の推進等

- (ア) 職員安全衛生委員会から、健康の保持増進、身体的・精神的健康問題、職場の環境などについて、職員に情報提供を行うなど健康管理の推進等に努めた。
- (イ) 健康診断の全員受診と要精密や再検査の全員受診に努めた。
- (ウ) 健康管理医から健康診断の事後措置や職場環境についての指導を受ける機会を設け、職員の健康推進意識の向上を図った。
- (エ) 職場環境安全点検を行い、休憩中の状況や衛生面、安全面での課題の有無を確認し、必要に応じた措置を講じた。
- (オ) 救急法に関する講習会を、生徒・職員対象に7月と1月に開催した。

ウ 令和7年度の取り組み

- (ア) 健康診断の全員受診と要精密や再検査の受診を徹底する。
- (イ) 健康保持増進、身体的・精神的健康問題、職場の環境改善など職員への情報提供と連携、健康への意識付けを図る取り組みを継続する。
- (ウ) 本校の健康管理医による健康相談は、希望のある職員と衛生管理者（管理職）から勧められた職員を対象としている。年間を通して、健康相談日を適切に設定していきたい。
- (エ) 職員の健康管理と活力の増進のため、教職員サッカー大会への参加を通して、親睦及び体力増進に努める。
- (オ) 職員安全衛生委員会と保健課の共同事業として、教育厚生課の職場の健康づくり支援事業の活用を検討する。
- (カ) 職員間の風通しの良い相談しやすい環境づくりを目指し、対話を促す環境整備の検討を継続する。

(4) 教職員の研修について

年度	研修の目的、内容	成果、課題
令和6年度	<p>ア 悉皆研修の充実を図るため、授業研究や授業参観を行う。 中堅教諭等資質向上研修の校内チーム研修を実施する。</p> <p>イ 校内研修 教職員としての資質・能力を向上する。 (ア) 定例職員会議の冒頭の小研修 (イ) 特別支援学校との連携 (ウ) 「総合的な探究の時間」 講師：県総合教育センターより</p>	<p>ア 研修を実施した。 (3年次研1人、6年次研1人、7年次研2人、8年次研1人、中堅研3人)</p> <p>イ 左記の校内研修を実施し、それぞれ目的を達成した。 ICT研修 (ア) 定例の職会議前に、小研修を行う。 (イ) 特別支援学校と合同研修会を持ち、そのセンター的機能を活用する機会とする。(夏季休業末(8月29日(木)の職員会議時) (ウ) 実施日：1月24日(金) 総合的な探究の時間の今後の在り方について、職員のコセンサス形成を試みる。</p>
令和7年度	<p>ア 悉皆研修の充実を図るため、授業研究や授業参観を行う。 中堅教諭等資質向上研修の校内チーム研修を実施する。</p> <p>イ 校内研修 教職員としての資質・能力を向上する研修を実施する。 (ア) 定例職員会議における研修 (イ) 特別支援学校との連携 (ウ) 総合的な探究の時間について</p>	<p>ア 研修を実施する。 (7年次研1名、8年次研2人、中堅研Ⅰ期3名、Ⅱ期3名)</p> <p>イ 左記の校内研修を実施し、それぞれ目的を達成する。 (ア) 定例の職員会議時に研修を行う。 (イ) 特別支援学校との合同研修会を持ち、そのセンター的機能を活用する機会とする(8月28日(木)の職員会議時) (ウ) 総合的な探究の時間の今後の在り方について職員のコセンサス形成を試みる。</p>

6 防災対策について

	実施内容	実施日	成果・課題
令和6年度	ア 防災組織の編成	4月	ア 担当と業務内容を明確化した。
	イ 防災訓練	4月16日 9月3日 3月12日	イ 南海トラフ地震が発生したことを想定した避難行動訓練を中心に実施し、「自分の命は自分で守る」ことを念頭に基本の避難経路を確認させた。また、地区の特性に合わせた動きを考えさせた。
	ウ 救命法講習会の実施	7月 2月	ウ 7月に保健課・保健体育科・養護教員による運動部生徒対象に救急法講習会（AED使用方法及び心肺蘇生法講習）を実施した。 2月のマラソン大会前に生徒職員対象にAED講習会を実施した。
	エ 熱中症対策	5月～10月	エ 運動部及び一部の文化部顧問に対して携帯できる熱中症計を配布した。体育館で使用する大型扇風機を複数配備したり、製氷機を設置したりするなどして、熱中症予防に努めた。
	オ 地区自主防災会参加	12月1日	オ 開催状況を確認しながら、12月の地域防災に生徒参加を促した。
	カ 職員防災訓練の実施	4月	カ 教職員によるマンホールトイレ設営訓練を計画したが、天候により実施できなかった。
	キ 防災倉庫の点検	8月	キ 新入生の防災用備品購入時に期限切れの非常食、飲料水等の確認ができた。
令和7年度	ア 防災組織の編成	4月	ア 担当と業務内容を明確化する。
	イ 防災訓練	4月 9月 3月	イ 南海トラフ地震が発生したことを想定した避難行動訓練を中心に実施し、「自分の命は自分で守る」ことを念頭に基本の避難経路を確認させる。また、体験訓練を実施する。
	ウ 救命法講習会の実施	7月 2月	ウ 保健課・保健体育科・養護教員による運動部生徒対象に救急法講習会（AED使用方法及び心肺蘇生法講習）を実施する。 2月のマラソン大会前に生徒職員対象にAED講習会を実施する。

令和7年度	エ 熱中症対策	5月～10月	エ WGBTを計測可能な携帯型計測機器と計測記録用紙を運動部及び一部の文化部顧問に対して配布し、数値に基づいた活動をする。また、4カ所（大体育館、小体育館、格技場、トレーニングルーム）に、壁掛け式のWGBT計を設置。また体育館で使用する大型扇風機を複数配備したり、製氷機を設置したりするなどして、熱中症予防に努めている。
	オ 地区自主防災会参加	12月	オ 開催状況を確認しながら、12月の地域防災に生徒参加を促す。
	カ 職員防災訓練の実施	4月	カ 教職員によるマンホールトイレ設営訓練を実施予定。
	キ 防災倉庫の点検	8月	キ 新入生の防災用備品購入時に期限切れの非常食、飲料水等の確認をする。

7 学校開放について

令和6年度の利用状況

施設名	主な利用種目	延利用日数	延利用者数	利用者負担金
普通教室等	模擬試験等	13日	2,439人	35,737円

令和7年度の利用状況

(令和7年6月30日現在)

施設名	主な利用種目	延利用日数	延利用者数	利用者負担金
普通教室等	模擬試験等	1日	78人	0円

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○教育基本法（第1条、第2条） ○学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第56条、第57条、第60条、第62条） ○学校教育法施行規則 ○静岡県立学校設置条例 ○静岡県立高等学校学則 ○高等学校学習指導要領 ○産業教育振興法（第15条） ○産業教育振興法施行令 ○理科教育振興法（第11条） ○理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育法（第12条、第60条、第137条） ○学校教育法施行規則 ○学校保健安全法（第5条、第15条、第27条） ○学校図書館法（第3条、第4条、第5条） ○独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） ○社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条） ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） ○教育公務員特例法（第21条、第22条、第23条、第24条、第25条） ○地方公務員法（第6節、第7節） ○静岡県立学校管理規則 ○静岡県立学校職員安全衛生管理規程 ○いじめ防止対策推進法 ○静岡県手数料条例 ○公立学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律 ○静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 ○静岡県立学校授業料等徴収規則 ○高等学校等就学支援金の支給に関する法律 ○高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 ○高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 ○静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 ○静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与実施要綱 ○高等学校遠距離通学費補助金交付要綱

職 員 調

(令和7年6月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	白須 賢一		□□	□ □	
2	副校長	中村 成秀		□□	□ □	
3	教頭	杉本 浩世	数学	□□	□ □	
4	事務長	西尾 稔		□□	□ □	
5	教諭(任)	浅田 尹	国語	□□	□ □	
6	教諭	小田木 保二	国語	□□	□ □	
7	教諭	小林 聡子	国語	□□	□ □	
8	教諭	杉山 さやか	国語	□□	□ □	
9	教諭	鈴木 杏彩	国語	□□	□ □	
10	教諭	鈴木 綾乃	国語	□□	□ □	
11	教諭	鈴木 学	国語	□□	□ □	
12	教諭	松野 由美	国語	□□	□ □	
13	教諭	芳野 博之	国語	□□	□ □	
14	教諭	秋山 秀人	地歴公民	□□	□ □	
15	教諭	瀬古 隼多	地歴公民	□□	□ □	
16	教諭	水野 晴弘	地歴公民	□□	□ □	
17	教諭	伊熊 緑	数学	□□	□ □	
18	教諭	大場 貴之	数学	□□	□ □	
19	教諭	樽松 弘道	数学	□□	□ □	
20	教諭	竹森 豪	数学	□□	□ □	
21	教諭	土田 慶祐	数学	□□	□ □	
22	教諭	鈴木 満	理科	□□	□ □	
23	教諭	成岡 練	理科	□□	□ □	
24	教諭	藤村 達也	理科	□□	□ □	
25	教諭	浅井 宏子	保健体育	□□	□ □	
26	教諭	石川 竜也	保健体育	□□	□ □	
27	教諭	石田 征大	保健体育	□□	□ □	
28	教諭	竹下 裕和	保健体育	□□	□ □	
29	教諭	二俣 敏明	保健体育	□□	□ □	
30	教諭	渥美 二郎	外国語	□□	□ □	
31	教諭	大隅 康人	外国語	□□	□ □	
32	教諭	河合 菜子	外国語	□□	□ □	
33	教諭	小松 浩一	外国語	□□	□ □	
34	教諭	櫻井 美央	外国語	□□	□ □	

職 員 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
35	教諭	平野 尚子	外国語	□□	□ □	
36	教諭	宮崎 昌子	外国語	□□	□ □	
37	教諭	石川 史子	家庭	□□	□ □	
38	教諭	鈴木 麻記子	芸術 (音楽)	□□	□ □	
39	教諭	金子 琴美	福祉	□□	□ □	
40	教諭	川口 愛理	福祉	□□	□ □	
41	教諭	鈴木 一彰	福祉	□□	□ □	
42	教諭	高井 恵実	福祉	□□	□ □	
43	養護教諭	村松 麻紀子	養護	□□	□ □	
44	実習助手	原川 朋子	理科	□□	□ □	
45	実習助手(任)	當麻 恵里	福祉	□□	□ □	
46	実習助手	佐藤 さら	福祉	□□	□ □	
47	主査	三ツ井 啓記		□□	□ □	
48	主査	村田 美紀		□□	□ □	
49	主任	相良 健太		□□	□ □	
50	主任技能員	武井 豊子		□□	□ □	
51	教諭	藤田 香於里	理科	□□	□ □	
52	教諭	山本 詠子	福祉	□□	□ □	
	平均年数			□□	□ □	

職 員 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
	教諭(臨)	田中 菜乃子	理科	□□	□ □	
	教諭(臨)	山田 章子	福祉	□□	□ □	
	外国語指導講師	アンジェリカ ジョイ	外国語	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤講師)	縣 享弘	地歴公民	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤講師)	河井 清継	地歴公民	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤講師)	高橋 俊孝	理科	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤講師)	朝比奈 健太郎	理科	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤講師)	河合 秀典	芸術(書道)	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤講師)	中津川 智弓	芸術(美術)	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤講師)	森田 和行	情報	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤講師)	北澤 百合子	家庭	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤講師)	鈴木 真由	福祉	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤講師)	川島 晴美	福祉	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (スクラムリーダー)	堀井 久二子		□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	尾崎 和幸		□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	毛利 美喜男		□□	□ □	
	会計年度任用職員 (非常勤嘱託員)	中島 佳子		□□	□ □	
	会計年度任用職員 (部活動指導員)	半場 久博	アーチェリー部	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (部活動指導員)	谷野 郁夫	卓球部	□□	□ □	
	会計年度任用職員 (部活動指導員)	市川 佳嗣	剣道部	□□	□ □	
	健康管理医	牧野 章	内科	□□	□ □	
	学校医	伊藤 基	内科	□□	□ □	
	学校医	鈴木 寛子	眼科	□□	□ □	
	学校医	梅原 潤一	耳鼻科	□□	□ □	
	学校歯科医	前島 健吾	歯科	□□	□ □	
	学校薬剤師	袖岡 利市	薬剤師	□□	□ □	

職 員 の 年 齢 調

(令和7年6月30日現在)

年齢	人員	摘要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	5 人	
30歳以上40歳未満	11 人	
40歳以上50歳未満	10 人	
50歳以上56歳未満	10 人	
56歳以上61歳未満	9 人	暫定再任用職員 1 人
61歳以上	7 人	再任用職員 6 人
計	52 人	平均年齢 47歳5カ月

健康管理

1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 48人 職員数 49人
受 診 率	98%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由
産・育休 1人

2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0 人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0 人
B 2		要経過観察	0 人
C 1	勤務をほぼ平常に行っておりが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0 人
C 2		要経過観察	0 人
D 1		要 治 療	0 (11)人
D 2	平常の勤務でよい。	要経過観察	0 (13)人
D 3		医 療 不 要	0 (25)人
区 分 者 計			0 (49)人
未区分者数			3 人
合 計			0 (52)人

(1) 管理区分 A～C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由
ア 産休・育休 1人
イ 新規採用 1人
ウ 自己都合による未受診 0人
エ その他 (対象外) 1人

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
款 08使用料及び手数料	円 77,770,050	円 77,057,250	円 712,800
項 01使用料	76,434,300	75,721,500	712,800
目 09教育使用料	76,434,300	75,721,500	712,800
02全日制高等学校授業料	76,398,300	75,685,500	712,800
08庁舎等使用料	36,000	36,000	0
項 02手数料	1,335,750	1,335,750	0
目 07教育手数料	1,335,750	1,335,750	0
01高等学校入学料	1,158,250	1,158,250	0
02証明書発行手数料	41,100	41,100	0
04高等学校全日制入学検 定料	136,400	136,400	0
款 10財産収入	683,703	683,703	0
項 01財産運用収入	683,703	683,703	0
目 01財産貸付収入	683,703	683,703	0
02土地貸付料	200,000	200,000	0
03建物貸付料	483,703	483,703	0
款 14諸収入	1,010,354	1,007,624	2,730
項 07雑入	1,010,354	1,007,624	2,730
目 02雑入	1,010,354	1,007,624	2,730
87保険料負担金	840,561	840,561	0
保険料負担金	663,490	663,490	0
非常勤職員	177,071	177,071	0
90雑収	169,793	167,063	2,730
雑収	156,901	154,171	2,730
古新聞・雑誌	12,892	12,892	0
計	79,464,107	78,748,577	715,530

執 行 状 況 調

(令和 6年度)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 A-D-F	納 期 内 収 入 率 B A-D-F
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円 0	円 0	円 0	円 0	% 100.0	% 99.0
0	0	0	0	100.0	99.0
0	0	0	0	100.0	99.0
0	0	0	0	100.0	99.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.7
0	0	0	0	100.0	99.7
0	0	0	0	100.0	99.7
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	98.3
0	0	0	0	100.0	98.2
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.0

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
	円	円	円
款 08使用料及び手数料	1,220,200	1,214,200	6,000
項 01使用料	36,000	30,000	6,000
目 10教育使用料	36,000	30,000	6,000
08庁舎等使用料	36,000	30,000	6,000
項 02手数料	1,184,200	1,184,200	0
目 09教育手数料	1,184,200	1,184,200	0
01高等学校入学料	1,175,200	1,175,200	0
02証明書発行手数料	9,000	9,000	0
款 10財産収入	683,703	683,703	0
項 01財産運用収入	683,703	683,703	0
目 01財産貸付収入	683,703	683,703	0
02土地貸付料	200,000	200,000	0
03建物貸付料	483,703	483,703	0
款 14諸収入	181,085	175,666	0
項 07雑入	181,085	175,666	0
目 02雑入	181,085	175,666	0
90保険料負担金	156,044	156,044	0
保険料負担金	115,279	115,279	0
非常勤職員	40,765	40,765	0
93雑収	25,041	19,622	0
雑収	20,267	14,848	0
古新聞・雑誌	4,774	4,774	0
計	2,084,988	2,073,569	6,000

執 行 状 況 調

(令和 7年度)
(令和 7年 6月30日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 A-D-F	納 期 内 収 入 率 B A-D-F
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	99.5
0	0	0	0	100.0	83.3
0	0	0	0	100.0	83.3
0	0	0	0	100.0	83.3
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	5,419	5,419	100.0	100.0
0	0	5,419	5,419	100.0	100.0
0	0	5,419	5,419	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	5,419	5,419	100.0	100.0
0	0	5,419	5,419	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	5,419	5,419	100.0	99.7

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 (令和 7 年 6 月 30 日 現在)
	件 数	件 数
入学検定料	1 6 9	0

現 金 出 納 調

磐田北高等学校

(令和 6年度)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,199,350	円 1,199,350	円 1,199,350	円 0	円 1,199,350 273 枚	円 1,199,350 66 枚
計	0	1,199,350	1,199,350	1,199,350	0	1,199,350 273 枚	1,199,350 66 枚

ZIB0110
ZIRB0110

現 金 出 納 調

磐田北高等学校

(令和 7年度)

(令和 7年 6月30日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,184,200	円 1,184,200	円 1,184,200	円 0	円 1,184,200 233 枚	円 1,184,200 26 枚
計	0	1,184,200	1,184,200	1,184,200	0	1,184,200 233 枚	1,184,200 26 枚

ZIB0110
ZIRB0110

預金調

(令和7年6月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘要
静岡銀行見付支店	無利息型 普通預金	0012952	静岡県立磐田北高等学校資金前渡者 白須 賢一	0	給与法定外控除等
静岡銀行見付支店	無利息型 普通預金	0336388	(自振口)静岡県立磐田北高等学校資金前渡者 白須 賢一	0	公共料金等口座振替
残高合計				0	

郵券等受払調

(令和7年6月30日現在)
(単位：枚、円)

区分	種類	令和6年度						令和7年度						摘要		
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	5円券	34	170		0	29	145	5	25		0		0	5	25	通信連絡用
郵券	10円券	82	820		0	79	790	3	30		0		0	3	30	通信連絡用
郵券	50円券	10	500		0	10	500	0	0		0		0	0	0	通信連絡用
郵券	84円券	57	4,788		0	46	3,864	11	924		0	6	504	5	420	通信連絡用
郵券	120円券	35	7,175		0	33	6,765	2	410		0	2	410	0	0	通信連絡用
郵券	210円券	45	9,450		0	18	3,780	27	5,670		0		0	27	5,670	通信連絡用
郵券	260円券	23	6,440		0	17	4,760	6	1,680		0		0	6	1,680	通信連絡用
郵券	350円券	23	7,360		0	13	4,160	10	3,200		0		0	10	3,200	通信連絡用
計			36,703		0		24,764		11,939		0		914		11,025	

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 磐田北高校

(令和 6年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 29,173	円 455,569	円 484,742	円 0	
教職員互助組合掛金等	1,546	21,614	23,160	0	
所得税	22,821	500,317	489,326	33,812	
県市町村民税	8,600	156,200	164,800	0	
保証金	627,580	586,300	1,145,500	68,380	
計	689,720	1,720,000	2,307,528	102,192	

Z1B0070
Z1RB0070

歳入歳出外現金調

県立高校中学校 磐田北高校

(令和 7年度)
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 125,093	円 87,150	円 37,943	
教職員互助組合掛金等	0	4,963	4,963	0	
所得税	33,812	166,425	111,944	88,293	
県市町村民税	0	2,100	0	2,100	
保証金	68,380	0	0	68,380	
計	102,192	298,581	204,057	196,716	

Z1B0070
Z1RB0070

歳出予算執行状況調

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	132,513,584	132,513,584	0	
項 02 教育委員会費	8,918,705	8,918,705	0	
目 02 教育総務費	19,665	19,665	0	
01 報酬	19,665	19,665	0	
03 非常勤職員報酬	19,665	19,665	0	
目 03 教育管理費	8,779,040	8,779,040	0	
08 旅費	7,240	7,240	0	
02 普通旅費	7,240	7,240	0	
10 需用費	2,372,000	2,372,000	0	
01 その他の需用費	2,372,000	2,372,000	0	
11 役務費	151,800	151,800	0	
14 工事請負費	6,248,000	6,248,000	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 05 高等学校費	112,914,988	112,914,988	0	
目 01 高等学校総務費	21,164,067	21,164,067	0	
01 報酬	13,920,232	13,920,232	0	
03 非常勤職員報酬	13,920,232	13,920,232	0	
03 職員手当等	1,582,166	1,582,166	0	
01 その他の職員手当等	1,582,166	1,582,166	0	
04 共済費	4,934,488	4,934,488	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	4,934,488	4,934,488	0	
08 旅費	727,181	727,181	0	
01 その他の旅費	509,431	509,431	0	
02 普通旅費	217,750	217,750	0	
目 02 高等学校管理費	91,750,921	91,750,921	0	
01 報酬	1,157,840	1,157,840	0	

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
03 非常勤職員報酬	1,157,840	1,157,840	0	
04 共済費	731	731	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	731	731	0	
07 報償費	1,187,600	1,187,600	0	
01 その他の報償費	1,187,600	1,187,600	0	
08 旅費	2,334,031	2,334,031	0	
01 その他の旅費	10,792	10,792	0	
02 普通旅費	2,323,239	2,323,239	0	
10 需用費	14,594,686	14,594,686	0	
01 その他の需用費	14,594,686	14,594,686	0	
11 役務費	2,250,243	2,250,243	0	
12 委託料	4,816,768	4,816,768	0	
13 使用料及び賃借料	783,522	783,522	0	
17 備品購入費	0	0	0	
18 負担金、補助及び交付金	60,415,900	60,415,900	0	
19 扶助費	4,209,600	4,209,600	0	
項 07 特別支援学校費	1,144,000	1,144,000	0	
目 02 特別支援学校管理費	1,144,000	1,144,000	0	
12 委託料	1,144,000	1,144,000	0	
項 08 学校教育費	9,535,891	9,535,891	0	
目 01 高校教育費	5,557,321	5,557,321	0	
01 報酬	4,205,454	4,205,454	0	
03 非常勤職員報酬	4,205,454	4,205,454	0	
04 共済費	715,486	715,486	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	715,486	715,486	0	
07 報償費	137,250	137,250	0	
01 その他の報償費	137,250	137,250	0	
08 旅費	324,927	324,927	0	

県立高校中学校 磐田北高校

ZIB0030
ZIRB0030

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の旅費	324,927	324,927	0	
10 需用費	174,204	174,204	0	
01 その他の需用費	174,204	174,204	0	
目 04 健康体育費	3,978,570	3,978,570	0	
01 報酬	2,748,000	2,748,000	0	
03 非常勤職員報酬	2,748,000	2,748,000	0	
04 共済費	11,376	11,376	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	11,376	11,376	0	
07 報償費	626,400	626,400	0	
01 その他の報償費	626,400	626,400	0	
08 旅費	267,414	267,414	0	
01 その他の旅費	267,414	267,414	0	
11 役務費	325,380	325,380	0	
計	132,513,584	132,513,584	0	

歳出予算執行状況調

(令和 7年度)
(令和 7年 6月30日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 12 教育費	119,001,158	7,733,689	111,267,469	
項 02 教育委員会費	3,477,000	186,190	3,290,810	
目 03 教育管理費	3,357,000	186,190	3,170,810	
10 需用費	1,987,000	186,190	1,800,810	
01 その他の需用費	1,987,000	186,190	1,800,810	
14 工事請負費	1,370,000	0	1,370,000	
目 04 教育厚生費	120,000	0	120,000	
01 報酬	120,000	0	120,000	
03 非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 05 高等学校費	105,516,640	5,800,181	99,716,459	
目 01 高等学校総務費	18,535,000	3,257,792	15,277,208	
01 報酬	11,136,000	1,795,303	9,340,697	
03 非常勤職員報酬	11,136,000	1,795,303	9,340,697	
03 職員手当等	2,023,000	856,515	1,166,485	
01 その他の職員手当等	2,023,000	856,515	1,166,485	
04 共済費	4,934,000	287,364	4,646,636	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	4,934,000	287,364	4,646,636	
08 旅費	442,000	318,610	123,390	
01 その他の旅費	331,000	208,341	122,659	
02 普通旅費	111,000	110,269	731	
目 02 高等学校管理費	86,981,640	2,542,389	84,439,251	
01 報酬	212,000	58,932	153,068	
03 非常勤職員報酬	212,000	58,932	153,068	
04 共済費	3,000	0	3,000	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,000	0	3,000	
07 報償費	1,660,400	10,000	1,650,400	
01 その他の報償費	1,660,400	10,000	1,650,400	
08 旅費	2,633,440	249,730	2,383,710	

ZIB0030
ZIRB0030

県立高校中学校 磐田北高校

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の旅費	83,440	2,745	80,695	
02 普通旅費	2,550,000	246,985	2,303,015	
10 需用費	11,954,800	1,701,936	10,252,864	
01 その他の需用費	11,954,800	1,701,936	10,252,864	
11 役務費	1,672,000	137,950	1,534,050	
12 委託料	6,518,000	248,380	6,269,620	
13 使用料及び賃借料	640,000	110,461	529,539	
17 備品購入費	1,240,000	0	1,240,000	
18 負担金、補助及び交付金	60,448,000	25,000	60,423,000	
項 07 特別支援学校費	1,629,000	0	1,629,000	
目 02 特別支援学校管理費	1,629,000	0	1,629,000	
12 委託料	1,629,000	0	1,629,000	
項 08 学校教育費	8,378,518	1,747,318	6,631,200	
目 01 高校教育費	5,824,178	1,224,043	4,600,135	
01 報酬	4,840,000	1,110,000	3,730,000	
03 非常勤職員報酬	4,840,000	1,110,000	3,730,000	
04 共済費	708,000	104,496	603,504	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	708,000	104,496	603,504	
07 報償費	133,400	4,500	128,900	
01 その他の報償費	133,400	4,500	128,900	
08 旅費	42,968	5,047	37,921	
01 その他の旅費	42,968	5,047	37,921	
10 需用費	99,810	0	99,810	
01 その他の需用費	99,810	0	99,810	
目 04 健康体育費	2,554,340	523,275	2,031,065	
01 報酬	1,120,000	403,000	717,000	
03 非常勤職員報酬	1,120,000	403,000	717,000	
07 報償費	611,140	45,000	566,140	

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の報償費	611,140	45,000	566,140	
08 旅費	480,000	75,275	404,725	
01 その他の旅費	480,000	75,275	404,725	
11 役務費	343,200	0	343,200	
計	119,001,158	7,733,689	111,267,469	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、 5年度からの 繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		4,816,768	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		1,144,000	0
計					5,731,524	5,960,768	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		6,248,000	
計					4,383,500	6,248,000	5,863,000
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		0	
計					115,500	0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		60,415,900	0
計					65,473,969	60,415,900	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年6月30日現在)

節 名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						左のうち、 5年度からの 繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	248,380	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	0	0
計					248,380	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	0
計					0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	25,000	0
計					25,000	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委 託 料 に 関 す る 調

令和6年度

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 磐田北高等学校外 3校自家 用電気工 作物保安 管理業務	遠鉄アシ スト(株)	円 1,622,390	円 1,535,600	円 ▲ 78,100	円 1,457,500	一般	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.31	121,110	自家用電 気工作物 保安管理	磐田北 磐田南 磐田西 磐田農業
									6.6.28	128,590		
									6.7.31	120,780		
									6.8.30	120,780		
									6.9.30	120,780		
									6.10.31	120,780		
									6.11.29	120,780		
									6.12.26	120,780		
									7.1.31	120,780		
									7.2.28	120,780		
									7.3.31	120,780		
									7.4.30	120,780		
									小計	1,457,500		
									2	ガスヒート ポンプ 点検業務		
7.2.12	1,886,500											
小計	3,679,500											
3	産業廃棄 物の収集 運搬及び 処分	(株)リサイ クルク リーン	99,000	99,000	0	99,000	随契	6.11.13 ～ 7.2.10	7.2.19	99,000	産業廃棄 物収集運 搬処分	随契1号 (少額)
4	産業廃棄 物処理	(株)ホクセ イ	50,468	50,468	0	50,468	随契	6.11.26 ～ 7.3.31	7.2.10	50,468	廃乾電池 (水銀使 用製品産 業廃棄 物)収集 運搬処分	随契1号 (少額)
5	産業廃棄 物処理 [収集・ 運搬]	静和エン パイロメ ント(株)	143,000	143,000	0	143,000	随契	6.11.28 ～ 7.3.31	7.4.14	143,000	廃水銀等 産業廃棄 物収集運 搬	随契1号 (少額)
6	産業廃棄 物処理 [処理・ 処分]	野村興産 (株)	423,500	423,500	0	423,500	随契	6.11.28 ～ 7.3.31	7.4.14	423,500	廃水銀等 産業廃棄 物処分	随契1号 (少額)
7	産業廃棄 物の収集 運搬運搬 及びフロ ン回収	(株)リサイ クルク リーン	56,100	56,100	0	56,100	随契	6.12.24 ～ 7.3.14	7.4.8	56,100	産業廃棄 物収集運 搬処分・フ ロン回収	随契1号 (少額)
8	産業廃棄 物の収集 運搬及び 処分	(株)リサイ クルク リーン	51,700	51,700	0	51,700	随契	7.2.6 ～ 7.3.31	7.4.8	51,700	産業廃棄 物収集運 搬処分	随契1号 (少額)
事務関係計		8件	7,329,498	6,055,368	▲ 94,600	5,960,768				5,960,768		
(工事関係)			円	円	円	円				円		
工事関係 計		0件	0	0	0	0				0		
合 計		8件	7,329,498	6,055,368	▲ 94,600	5,960,768				5,960,768		

委 託 料 に 関 す る 調

令和6年度

整理 番号	委託業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
参考1	磐田南高等学校外8校警備業務	総合警備保障㈱静岡支社		円 17,166,600	円 0	円 17,166,600		元.10.1 ～ 6.9.30			警備業務	磐田南
参考2	磐田農業高等学校外8校消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		9,251,000	0	9,251,000		6.4.1 ～ 7.3.31			消防用設備等保守点検	磐田農業
参考3	磐田西高等学校外4校可燃物収集運搬処分業務	㈱ハシモト		収集運搬料 1回 5,885 処分料 1kg 17.6 収納容器料 月額 1,100	0	運搬料 1回 5,885 処分料 1kg 17.6 収納容器料 月額 1,100		6.4.12 ～ 7.3.31			可燃ごみ 処理	磐田西 (単価契約)
参考4	磐田西高等学校外6校水泳プール浄化装置保守点検業務	㈱山静岡商会		429,000	0	429,000		6.4.12 ～ 6.11.29			プール浄化装置保守点検	磐田西
参考5	磐田袋井地区県立学校建築基準法第12条に基づく定期点検業務委託	㈱コーセイ産業		3,063,390	0	3,063,390		6.11.1 ～ 7.2.28			建築基準法第12条に基づく定期点検	磐田農業
参考6	磐田南高等学校外8校警備業務	総合警備保障㈱静岡支社		13,602,600	0	13,602,600		6.10.1 ～ 11.9.30			警備業務	磐田南
	計	6件		26,846,600	0	26,846,600						

委 託 料 に 関 す る 調

令和7年度

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	委託業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額			契約締 結方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) 磐田北高等 学校外3校 自家用電気 工作物保安 管理業務	遠鉄アシス ト(株)	円	円	円	円	一般	7.4.1 ～ 8.3.31	7.5.30 7.6.30	円 124,190 124,190	電気設備の保守点検 月次点検、年次点検	磐田北 磐田南 磐田農業 磐田西
	1,639,440		1,490,280	0	1,490,280	小計			248,380			
	事務関係計	1件	1,639,440	1,490,280	0	1,490,280				248,380		
	(工事関係)		円	円	円	円				円		
	工事関係計	0件	0	0	0	0				0		
	合 計	1件	1,639,440	1,490,280	0	1,490,280				248,380		
参考1	磐田南高等 学校外8校 警備業務	綜合警備保 障(株)静岡支 社	/	円 13,602,600	円 0	円 13,602,600	/	6.10.1 ～ 11.9.30	/	/	警備業務	磐田南
参考2	磐田農業高 等学校外8 校消防用設 備等保守点 検業務	静岡県消防 設備保守点 検業協同組 合	/	9,322,500	0	9,322,500	/	7.4.1 ～ 8.3.31	/	/	消防用設備等保守点検	磐田農業
参考3	磐田西高等 学校外4校 可燃物収集 運搬処分業 務	(株)ハシモト	/	収集運搬料 1回 5,940 処分料 1kg 17.6 収納容器料 月額 1,100	0	収集運搬料 1回 5,940 処分料 1kg 17.6 収納容器料 月額 1,100	/	7.4.11 ～ 8.3.31	/	/	可燃ごみ処理	磐田西 (単価契約)
参考4	磐田西高等 学校外6校 水泳プール 浄化装置保 守点検業務	南山静商会	/	467,500	0	467,500	/	7.4.11 ～ 7.11.28	/	/	プール浄化装置保守点検	磐田西
	計	4件		23,392,600	0	23,392,600						

負 担 金 支 出 調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会第76回総会研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長協会第76回総会研究協議会参加	円 4,000	6.5.1
2	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会総会参加	2,000	6.7.8
3	全国福祉高等学校長会・福祉担当教員等研究協議会参加費	全国福祉高等学校長会総会・研究協議会並びに福祉担当実行委員長	開催通知	全国福祉高等学校長総会・福祉担当教員等研究協議会参加	8,000	6.7.30
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期515名3ヶ月分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	15,295,500	6.7.31
5	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	静岡県高等学校長協会生徒指導専門委員会委員長	開催通知	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会総会・研究協議会参加	2,000	6.7.31
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期1名3ヶ月分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	6.9.2
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期1名1ヶ月分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	6.10.4
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期504名5ヶ月分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	24,948,000	6.10.31
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期1名3ヶ月分 1名5ヶ月分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	79,200	6.11.28
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期506名4ヶ月分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	20,037,600	7.1.31
計		10件	/	/	60,415,900	/

負 担 金 支 出 調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国福祉高等学校長会令和7年度会費	全国福祉高等学校長会理事長	規約	全国福祉高等学校長会令和7年度	円 10,000	7.4.25
2	全国高等学校長協会第77回総会研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長協会第77回総会研究協議会参加	4,000	7.5.8
3	令和7年度静岡県産業教育振興会学校関係会費学校負担金	静岡県産業教育振興会	開催通知	令和7年度静岡県産業教育振興会学校関係会費学校負担	3,000	7.5.23
4	甲種防火管理新規講習料金	一般財団法人日本防火・防災協会	開催要項	甲種防火管理新規講習	8,000	7.5.29
計		4件	/	/	25,000	/

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当初 設計金額	契約金額	
					当 初 額	変更増減額
				円	円	円
1	教育管理費	3棟演習室GHP更新 工事	磐田市見付地内	6,292,000	5,863,000	0
2	教育管理費	避難器具移設工事	磐田市見付地内	385,000	385,000	0
		小 計	2件	6,677,000	6,248,000	0
				円	円	円
参考1	教育管理費	令和6年度[第36－ Z2425-01号]磐田北高 等学校給水配管改修 工事	磐田市見付地内	5,060,000	4,840,000	1,441,000
		小 計	1件	5,060,000	4,840,000	1,441,000
		合 計	3件	11,737,000	11,088,000	1,441,000

令和7年度該当なし

事 調

令和6年度

計	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年月日	支出済額	工 事 概 要	公有財産台帳	摘 要
円 5,863,000	指名	(株)牧野配管	6.7.29 6.11.29	円 5,863,000	3棟演習室GHP更新工事 空調設備機器(室外機:16 馬力相当、室内機:5馬力 相当、ワイヤレスリモコン キット) 既設設備撤去処分:冷媒 回収、破棄処理、エンジンオイ ル・クーラント回収処分	有	令達年月日 6.6.24 支払日 7.1.15 [P56/1]
385,000	随契	東海消防技研 (株)	7.3.7 7.3.28	385,000	避難器具移設工事 救助袋(垂直式)取外し、 避難袋(垂直式)取付	—	随契1号 (少額) 令達年月日 7.2.26 支払日 7.4.25
6,248,000				6,248,000			
円 6,281,000	指名	(株)永井設備商 会	6.10.24 7.2.27	円 6,281,000	1棟 鉄筋コンクリート造 4 階建て延床面積4,198㎡ 給水配管の改修(職員室、 事務室、校長室、応接室系 統) 受水槽のFMバルブ、吸気 弁、VB管の更新	—	本庁経理 交通基盤部 設備課執行
6,281,000				6,281,000			
12,529,000				12,529,000			

工 越 繰

整理 番号	予算科目	事業(箇所)名 及び内訳	事業個所	契約額	前年度施行 支払額	繰越額
1	教育管理費	令和6年度[第36- Z2425-01号]磐田北高 等学校給水配管改修 工事	磐田市見付地内	円 5,863,000	円 0	円 6,300,000
		小計		5,863,000	0	6,300,000
		工事雑費・事務費		0	0	0
		合計		5,863,000	0	6,300,000
			上記計の内訳	工事費	1件	6,300,000

令和7年度該当なし

事

調

(令和5年度から令和6年度へ繰越分)
(令和7年6月30日現在)

同左 支出済額	支出未済額	契約締 結方法	受注者 (受託者)	着手 完成(予定) 年月日	繰越理由
円 5,863,000	0	指名	株牧野配管	6.7.29 6.11.29	全国的なケーブル類の品薄により、部材の納期 が遅延したため
5,863,000	0				
0	0				
5,863,000	0				
5,863,000	0				

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区分	6年4月1日現在		増		減		7年3月31日現在		摘 要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		1,288,992		10,104		14,057		1,285,039	
土地	m ²						m ²		
	32,168.46	1,096,899					32,168.46	1,096,899	
立木竹	本						本		
	121	3,576					121	3,576	
建物	m ²						m ²		
	$\frac{7,020.20}{14,650.12}$	134,143				9,625	$\frac{7,020.20}{14,650.12}$	124,518	
工作物	個						個		
	112	54,374	2	10,104	1	4,432	113	60,046	
普通財産		0		0		0		0	
土地	m ²						m ²		
	0.00	0					0.00	0	
立木竹	本						本		
	0	0					0	0	
建物	m ²						m ²		
	$\frac{0.00}{0.00}$	0					$\frac{0.00}{0.00}$	0	
工作物	個						個		
	0	0					0	0	
公有財産に 準ずるもの		141						141	
電話加入権	件						件		
	5	141					5	141	

公 有 財 産 調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

区分	7年4月1日現在		増		減		7年6月30日現在		摘 要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 1,285,039	/	千円 0	/	千円 0	/	千円 1,285,039	
土地	m ² 32,168.46	1,096,899					m ² 32,168.46	1,096,899	
立木竹	本 121	3,576					本 121	3,576	
建物	m ² <u>7,020.20</u> 14,650.12	124,518					m ² <u>7,020.20</u> 14,650.12	124,518	
工作物	個 113	60,046					個 113	60,046	
普通財産	/	0	/	0	/	0	/	0	
土地	m ² 0.00	0					m ² 0.00	0	
立木竹	本 0	0					本 0	0	
建物	m ² <u>0.00</u> 0.00	0					m ² <u>0.00</u> 0.00	0	
工作物	個 0	0					個 0	0	
公有財産に 準ずるもの	/	141	/		/		/	141	
電話加入権	件 5	141					件 5	141	

借地借家等調

(令和7年6月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	磐田市見付字狐塚2046-2	畑	学校敷地	33.00	-	無償	R4.4.1 ～ R9.3.31	磐田市長	学校敷地
			2048-1	畑	畑	56.00					
			2049-1	畑	畑	36.00					
			2064-1	畑	畑	112.00					
			2064-2	畑	畑	49.00					
			2064-3	畑	畑	39.00					
			2064-4	畑	畑	39.00					
			2064-5	畑	畑	19.00					
			2064-6	畑	畑	42.00					
			2064-7	畑	畑	76.00					
			2065-1	畑	畑	3.30					
			2066-1	畑	畑	23.00					
			2066-2	畑	畑	19.00					
			2066-3	畑	畑	13.00					
			2066-4	畑	畑	9.91					
			2072-1	畑	畑	29.00					
			2074-2	畑	畑	23.00					
			2074-4	畑	畑	6.61					
			2074-6	宅地	畑	39.66					
			2159-5	畑	畑	39.00					
			2160-1	畑	畑	85.00					
			2161-1	畑	畑	26.00					
			2161-2	畑	畑	33.00					
			2161-3	宅地	畑	6.61					
			2162-1	畑	畑	49.00					
			2163-1	畑	畑	26.00					
			2163-2	畑	畑	19.00					
			2164-1	畑	畑	82.00					
			2164-2	畑	畑	59.00					
			2164-4	畑	畑	9.91					
			2191	畑	畑	499.00					
			2192-1	畑	畑	99.00					
			2192-2	畑	畑	33.00					
2193-1	畑	畑	42.00								
2195-1	畑	畑	92.00								
2212-3	畑	畑	16.00								
2213-3	畑	畑	19.00								
2214-3	畑	畑	13.00								
2218-9	畑	畑	9.91								
2218-10	畑	畑	3.30								
2218-11	畑	畑	3.30								
2218-12	畑	畑	3.30								
2218-13	畑	畑	6.61								
2220-1	畑	畑	138.00								
2222-1	畑	畑	72.00								
2236-2	学校用地	畑	47.00								
2248-3	畑	畑	206.00								
	計					2,404.42		0			
2	建物	雑屋建	磐田市見付2031-2	鉄骨 平屋建		40.64	-	無償	R7.4.1 ～ R8.3.31	静岡県立 磐田北高等学校 教育振興会長	弓道 練習 場所
	計					40.64					

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和6年度)

区 分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
長期継続契約	電子複写機賃貸借及び使用契約	電子複写機2台 (契約日)令和2年4月1日	円 1,903,950	円 380,790	円 380,790	円 380,790	円 380,790	円 380,790

(令和7年度)
(令和7年6月30日現在)

区 分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
長期継続契約	電子複写機賃貸借及び使用契約	電子複写機2台 (契約日)令和7年4月1日	円 1,844,830	円 368,966	円 368,966	円 368,966	円 368,966	円 368,966

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年6月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	磐田市見付2031-2	学校用地	学校敷地	電柱 5本 支線柱 3本 支線 11条 支柱 1本	1,500	30,000	円 5.4.1 ～ 8.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 静岡支社 磐田営業所長	電力供給用 電柱等敷地
2	土地	学校敷地	磐田市見付2031-2	学校用地	学校敷地	支線柱 1本 支線 3条	1,500	6,000	4.4.1 ～ 9.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電話通信用 電柱等敷地
3	建物	事務所建	磐田市見付2031-2	鉄筋4階建		11.21 m ²	-	免除	7.4.1 ～ 10.3.31	磐田市市長	防災行政 無線固定系 装置設置
4	建物	事務所建	磐田市見付2031-2	鉄筋4階建		0.12 m ²	-	免除	7.4.1 ～ 8.3.31	国土地理院 中部地方測量部長	基本測量用 四等三角点 設置
5	土地	学校敷地	磐田市見付2031-2	学校用地	学校敷地	4.00 m ²	-	免除	7.4.1 ～ 12.3.31	静岡県立磐田北高等学校 教育振興会長	幼稚園跡 記念碑設置
6	土地	学校敷地	磐田市見付2031-2	学校用地	学校敷地	46.17 m ²	-	免除	7.4.1 ～ 12.3.31	静岡県立磐田北高等学校 教育振興会長	弓道練習 場所敷地
7	土地	学校敷地	磐田市見付2053-1	学校用地	学校敷地	14.04 m ²	-	免除	7.4.1 ～ 12.3.31	磐田市市長	緑化用地
8	土地	学校敷地	磐田市見付2241-1 見付2306 見付2307-4	公衆用道路	公衆用道路	113.00 m ²	-	免除	7.4.1 ～ 12.3.31	磐田市市長	道路敷地
9	土地	学校敷地	磐田市見付2031-2	学校用地	学校敷地	12.50 m ²	-	免除	6.4.1 ～ 9.3.31	静岡県立磐田北高等学校 PTA会長	PTA事務職 員の駐車場
	建物	事務所建	磐田市見付2031-2	鉄筋4階建		3.30 m ²	-	免除	6.4.1 ～ 9.3.31	静岡県立磐田北高等学校 PTA会長	PTA事務 職員の 執務場所
10	土地	学校敷地	磐田市見付2032-2	公衆用道路	公衆用道路	3.30 m ²	-	免除	7.4.1 ～ 12.3.31	磐田市市長	公衆用道路
11	土地	学校敷地	磐田市見付2031-2	学校用地	学校敷地	16.10 m ²	-	免除	6.4.1 ～ 11.3.31	静岡県立磐田北高等学校 野球部父母の会	バス駐車場
12	土地	学校敷地	磐田市見付2031-3	学校用地	学校敷地	3,500.21 m ²	-	免除	7.4.1 ～ 10.3.31	静岡県立袋井特別支援学 校	磐田見付分 校敷地
13	土地	学校敷地	磐田市見付2031-4	学校用地	学校敷地	0.19 m ²	-	免除	7.4.1 ～ 10.3.31	静岡県立袋井特別支援学 校	案内板敷地
14	土地	学校敷地	磐田市見付2031-5	学校用地	困障	0.12 m ²	-	免除	7.4.1 ～ 10.3.31	静岡県立袋井特別支援学 校	案内板敷地
15	土地	学校敷地	磐田市見付2031-2	学校用地	学校敷地	2.00 m ²	-	200,000	6.4.1 ～ 9.3.31	サントリービバレッジソリュー ション(株)	飲料用自動 販売機設置
	建物	事務所建	磐田市見付2031-2	鉄筋4階建		4.00 m ²	-	483,703	6.4.1 ～ 9.3.31	サントリービバレッジソリュー ション(株)	飲料用自動 販売機設置
合計								719,703			

備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000220826 県立高校・中学校 磐田北高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-02 台類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-04 収納保管庫類	25	(0) 0	0	(0) 0	0	25
01-05 印刷機器類	2	(0) 0	0	(0) 1	0	1
01-07 書類整理器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-10 印判類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-11 照明器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-12 寝具類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-13 厨房器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-14 冷暖房器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-19 掲示板・黒板	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	2	(0) 1	0	(0) 1	0	2
02-01 情報処理機器類	239	(0) 0	0	(0) 0	0	239
02-02 情報伝達機器類	12	(0) 0	0	(0) 1	0	11
02-03 再生機器類	5	(0) 0	0	(0) 1	0	4
03-01 撮影機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-02 観察・観測用光学機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
03-03 視覚用再生等機器類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
03-04 媒体関連機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5

備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000220826 県立高校・中学校 磐田北高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
03-99 その他の写真光学視覚機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	12	(0) 0	0	(0) 1	0	11
04-03 看護用機器類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
04-04 調剤用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-05 機能回復訓練機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-99 その他の医療衛生機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
05-03 電気試験計測機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
05-04 分析化学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-06 環境化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-09 天体気象観測機器類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
05-10 身体測定用機器類	1	(0) 0	0	(0) 1	0	0
05-99 その他の試験計測機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
06-03 繊維染色縫製機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 1	0	1
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-99 その他の諸機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
08-01 車両類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
09-01 標本美術品	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-02 語学用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

備品・図書調

(令和 7年度)

所属 0000220826 県立高校・中学校 磐田北高等学校

(令和 7年 6月30日現在)

区分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 6月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-02 台類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-04 収納保管庫類	25	(0) 0	0	(0) 0	0	25
01-05 印刷機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-10 印判類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-11 照明器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-12 寝具類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-13 厨房器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-14 冷暖房器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-19 掲示板・黒板	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
02-01 情報処理機器類	239	(0) 0	0	(0) 0	0	239
02-02 情報伝達機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
02-03 再生機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
03-01 撮影機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-02 観察・観測用光学機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
03-03 視覚用再生等機器類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
03-04 媒体関連機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5

備品・図書調

(令和 7年度)

所属 0000220826 県立高校・中学校 磐田北高等学校

(令和 7年 6月30日現在)

区分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 6月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
03-99 その他の写真光学視覚機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
04-03 看護用機器類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
04-04 調剤用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-05 機能回復訓練機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-99 その他の医療衛生機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
05-03 電気試験計測機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
05-04 分析化学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-06 環境化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-09 天体気象観測機器類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
05-99 その他の試験計測機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
06-03 繊維染色縫製機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-04 電気電子機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-99 その他の諸機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
08-01 車両類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
09-01 標本美術品	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-02 語学用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-03 社会用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

主 要 備 品 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利用状況	購入年月	購入金額 円
	大・中	小				
1	2-1	その他の情報処理機器	福祉科実習装置①～⑫	週3日(年間35週) 福祉科授業に使用	令和4年3月	19,470,000
2	10-2	その他の語学用器具	LLシステム機器(一式) ナショナルWE-LL200	週1日(年間30週) 外国語授業に使用	平成9年3月	9,476,000
3	4-99	その他の医療衛生機器	機械浴槽(一式) アmano アルカディアASB-3	週1日(年間8週) 福祉授業に使用	平成14年3月	6,615,000
4	3-3	プロジェクター	プロジェクター マクセル MC-AW3005J	週5日(年間197日) 授業、学校行事に使用	令和3年3月	4,908,750
5	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ (一式) iPad他	週5日(年間197日) 授業、学校行事に使用	令和3年3月	3,808,217
6	10-7	鍵盤楽器	グランドピアノ カワイRX-6	週5日(年間35週) 音楽授業に使用	平成20年3月	1,953,000
7	4-1	台・机・いす	患者監視実習装置 ギャッジベッド	週1日(年間12週) 福祉実習に使用	平成7年3月	1,833,400
8	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ (一式)	週2日(年間35週) 情報授業に使用	平成26年2月	1,808,646
9	9-1	模型	人体解剖模型 筋肉模型	週1日(年間26週) 福祉授業に使用	昭和49年11月	1,500,000
10	1-4	たな	移動式書架(図書館) オカムラ2連7列	毎日(年間365日) 書籍管理に使用	平成4年3月	1,365,000
11	3-4	フィルム(ビデオフィルム)	ビデオ看護教育 シリーズ39巻	週1日(年間32週) 福祉授業に使用	平成9年3月	1,148,930
12	10-12	トレーニング用器具	レックカール&エクステンションマシン セノーBA2113	毎日(年間245日) 体育授業・部活に使用	平成元年12月	1,091,800
13	10-12	トレーニング用器具	レックプレス&バックキックマシン セノーBA2013	毎日(年間245日) 体育授業・部活に使用	平成元年12月	952,750
14	10-12	トレーニング用器具	ハタフライ&ローイングマシン セノーBA2413	毎日(年間245日) 体育授業・部活に使用	平成元年12月	942,450
15	2-2	放送装置	放送設備 ビクターPAM-112 他	毎日(年間245日) 校内放送に使用	平成25年3月	932,400
16	10-6	教育調理器具	調理実習台(教師用) ヤガミ YFT-2GH改良型	週2日(年間35週) 調理実習に使用	平成9年3月	700,400
17	5-9	その他の天体気象観測機器	デジタル地震計 リオンSM23C PV20JA	週1日(年間26週) 理科授業に使用	平成11年3月	678,825
18	2-1	電算組織用媒体	協働学習ソフト	週1日(年間35週) 国語、英語、社会授業に使用	平成28年3月	669,600
19	1-4	移動書庫	移動式書棚 オカムラ2485Hタイプ	毎日(年間365日) 書類管理に使用	平成10年3月	606,060
20	10-12	サッカー用器具	サッカーゴール KE-733	毎日(年間245日) 体育授業・部活に使用	平成11年3月	588,000